令和７年度　やまがた社会貢献基金助成事業　活動報告書

団体名	ヤマガタ防災・減災 Action！		
事業名	ヤマガタ”冬”の減災Ａｃｔｉｏｎ！ ～最大被害想定と寒さから”いのち”を守ろう！～		
助成事業区分	協働助成事業（一般型） 【県政課題：県民の防災（自助・共助）意識の向上のための防災教育・啓発の推進】		
団体の所在市町村	山形市	事業費	４５１，６７６円
		うち助成金額	４５１，６７６円
事業実施期間	令和７年６月 13 日～令和８年２月 28 日まで		

事業目的・実施内容

(事業目的)

能登半島地震を受け、県内でも避難所が開設されたが、冬季の避難所整備が整わず、また自助として冬季避難の準備も十分ではなかった為、本来あってはならない防災情報の発令中に危険地域に帰宅してしまった案件が見られたなど、避難所が避難行動後のいのちを守るべき場所になっていない課題が表出した。そこで、山形県地域防災計画に想定された最大被害想定である冬季の地震災害を想定し、冬季の避難所の設営や運営について、地域や学校等の避難所や在宅避難を想定した冬の災害時の対応を学ぶ研修と避難所体験活動を実施した。実施する際には、当団体がやまがた社会貢献基金事業や県の防災士養成研修・女性防災セミナーなどでこれまで育成した女性や若年層の関わりを活かした。

(実施内容)

①冬季の避難所設営・運営から自助・共助の重要性を学ぶ → 男女共同参画の視点に立った設営や要配慮者に対する配慮について、HUG（避難所運営ゲーム）や災害記録誌・先行研究などを通じ、災害時の避難所を疑似体験した。地域防災計画の被害想定を受けた避難所運営のポイントや工夫を学ぶ座学研修を実施。実際に被災地で起きた課題など、体験的に学べる内容とした。

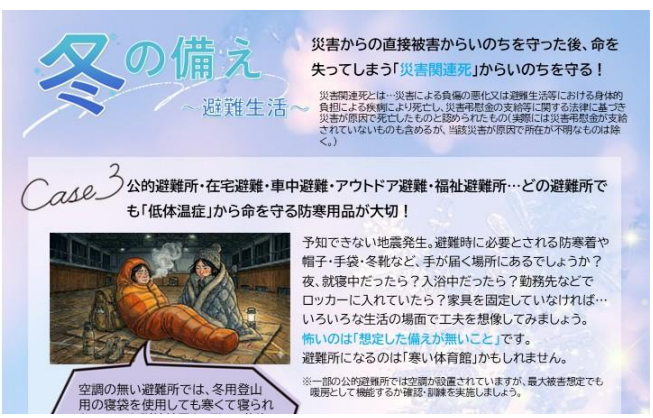
②避難所設営を知る → 市町との連携で資材を展開するのではなく、団体員それぞれの市町の防災訓練で備蓄資材の確認をすすめ、実際に冬季において、避難所がどのような状況になるのかを確認した。また体験的活動としては、山形県冬季総合防災訓練へ参加し、実際に冬季において、避難所がどのような状況になるのか確認した。鮭川村での内閣府の災害ケースマネジメント研修で災害時の備えを学ぶ講演を聴講+村の災害特性（孤立等）を踏まえた冬期の分散備蓄の状況などを実際に視察した。

③学びや体験からの自助・共助推進の広報 → ①・②の学びや体験から生まれた視点・意見を、広く県民に伝え、防災力向上に向け自助と共助推進となるような情報パンフレット等を作成した。

事業の成果	地域防災計画の県内最大の被害想定である冬季の災害被害を県民に周知することで、県内で起きうる災害を自分事化し、また「冬季の避難所（在宅避難も含め）」について想定をしながら、より具体的な自助力向上のための備えの手法を学び、自助力の向上に結びつけられる。 改めて、自分たちの住む市町の備蓄品を知ることや、地域防災計画を読み解いていくことは、共助への参画の必要性・重要性を実感し、共助への参画する者を増やしていかなければならないとの思いが生まれる。 県民に向けた研修などでは冬季のイメージのあるものが無かったことから、改めて、県民に冬季の災害についての意識を高める効果があった。 これまで進めてきた女性参画への視点を活かすことで、男女共同参画の在り方を継続的に推進させ、実務的に避難所の運営に入れ込んでいくことによって、市町村の避難所設営に活かす事例となるのではないか。 団汰としての活動の成果もあった。互いの経験を共有し、団体としてのスキルや参加者の防災力の向上が見られた。また県協定企業などとの連携が進んだ。
今後の展望	パンフレットによる周知は研修内で実施したが、県民防災デー前に県内で大々的に周知できなかった理由として、県内での大雪に係る災害救助法の適用と内陸地区の渇水（暖冬）の状況があり、より県民心情に寄り添い、更に効果的な周知時期として令和８年度初冬の大々的な周知に、今年度の成果と活動を活かしていきたい。そのため令和７年度は実施できなかった行政や被災者支援団体等との連携を令和８年度はより前にすすめ、本事業で今回準備できた制作物を基に、活動内容を更に検討していく。作成したパンフレットは、令和８年度秋季後半から周知し、自助力向上に対して役立てていきたい。







団体概要
団体名　ヤマガタ防災・減災Action！
代表者　細谷　真紀子
メール：
connectaction.yamagata@gmail.com

当団体は、男女共同参画の視点や人権の視点を持つ防災・減災活動を推進しています。お問い合わせは上記メールよりお問い合わせください。

令和７年度山形県ＮＰＯ活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	ヤマガタ”冬”の減災Action！　～最大被害想定と寒さから”いのち”を守ろう！～
団体名	ヤマガタ防災・減災Action！

１　収入の部

（単位：円）

区分	精算額	内容
県補助金	451,676	令和７年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入	0	
その他収入	0	
自己資金	0	
合計	451,676	

２　支出の部

（単位:円）

区分	精算額	内容
謝金	0	
旅費	15,200	会員交通費・高速道路利用料 （団体規定により算出）
印刷製本費	120,056	啓発チラシ・掲示物・展示用冊子
消耗品・材料購入費	222,558	運営材料教材費・制作物用備品、消耗備品費
通信運搬費	3,112	印刷物送料・訓練資材運送費
保険料	0	
使用料	33,000	資材レンタル費
人件費	8,250	訓練スタッフ:1h1,000円
（委託費）	49,500	印刷物制作に係る委託料
（備品購入費）	0	
（修繕費）	0	
合計	451,676	